

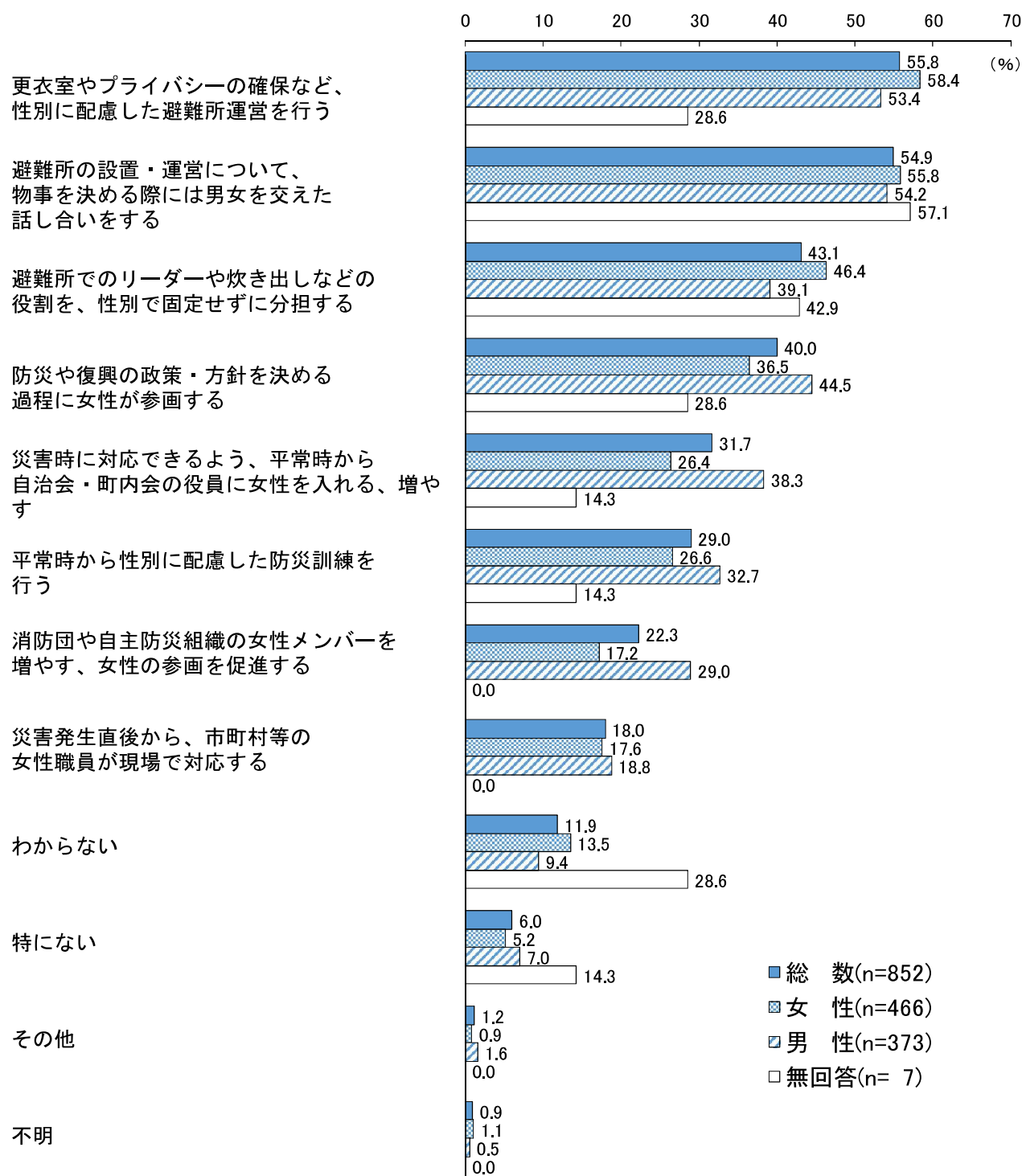
5 防災・復興

問12 あなたは、性別に配慮した防災・災害対応・復興対策のためにはどのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを1～9の中からいくつでも選んで○をつけてください。特にない場合は10に○をつけてください。わからない場合は11に○をつけてください。

「更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う」が55.8%で最も多く、次いで「避難所の設置・運営について、物事を決める際には男女を交えた話し合いをする」が54.9%、「避難所でのリーダーや炊き出しなどの役割を、性別で固定せずに分担する」が43.1%となっている。性別にみると、男性は「防災や復興の政策・方針を決める過程に女性が参画する」が3番目に多くなっている。

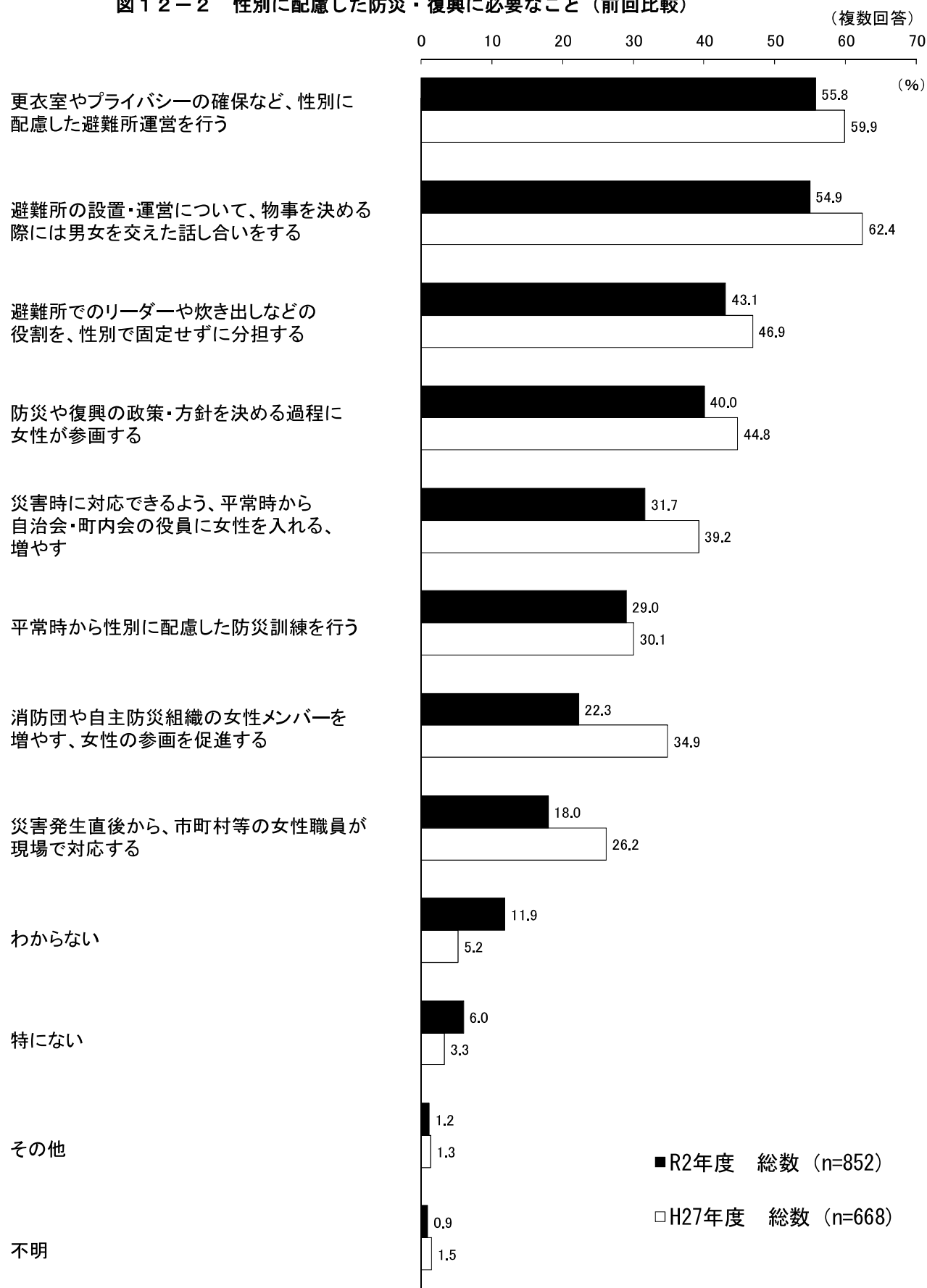
図12-1 性別に配慮した防災・復興に必要なこと

(複数回答)



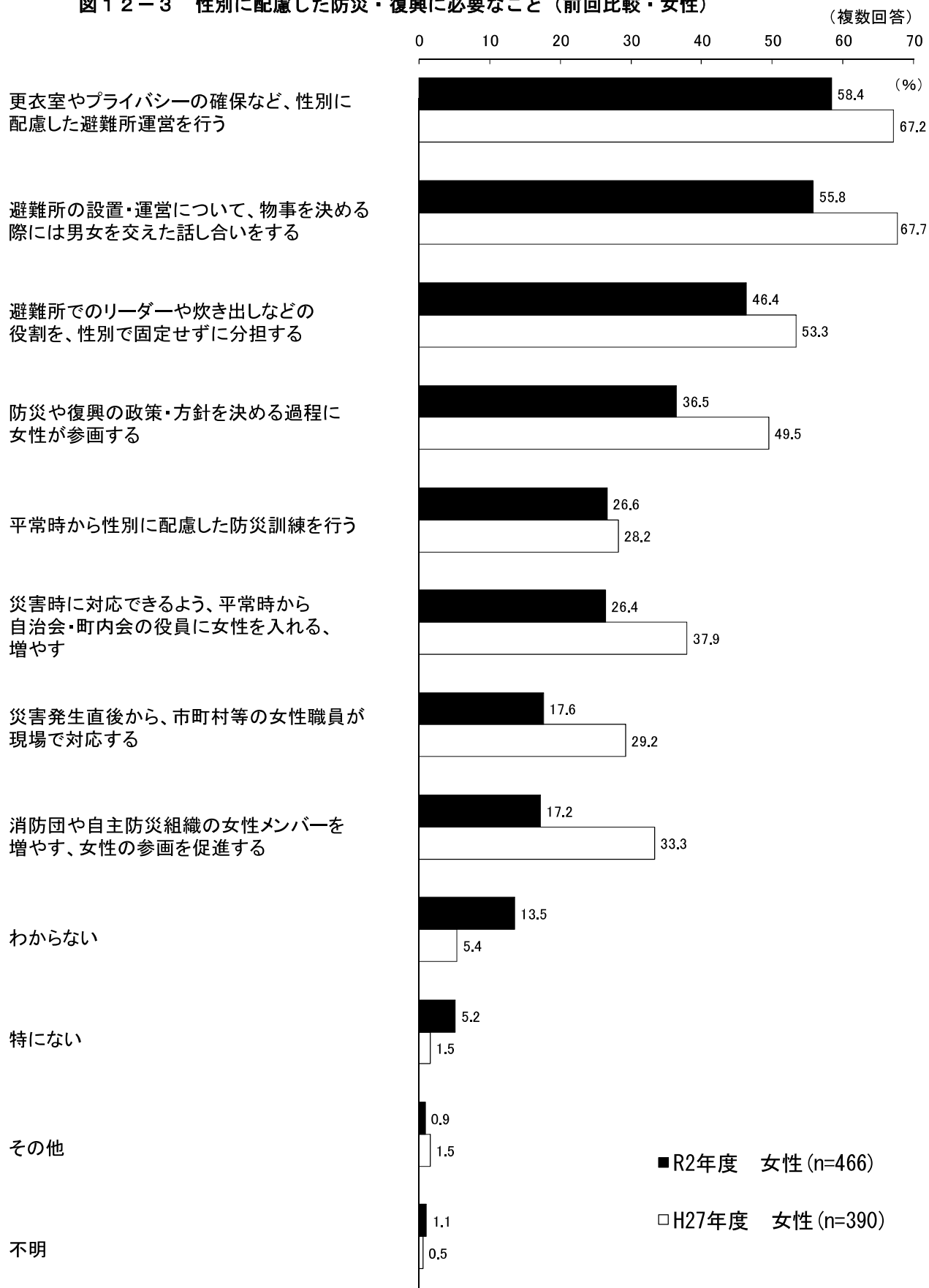
前回調査と比較すると、前回2番目に多かった「更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う」が、今回最も多くなっている。また、「消防団や自主防災組織の女性メンバーを増やす、女性の参画を促進する」が12.6ポイント低下している。

図12-2 性別に配慮した防災・復興に必要なこと（前回比較）



前回調査と比較すると、前回2番目に多かった「更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う」が、今回最も多くなっている。また、「消防団や自主防災組織の女性メンバーを増やす、女性の参画を促進する」が16.1ポイント低下している。

図12-3 性別に配慮した防災・復興に必要なこと（前回比較・女性）



前回調査と比較すると、前回4番目に多かった「避難所でのリーダーや炊き出しなどの役割を、性別で固定せずに分担する」が、今回3番目に多くなっている。

図12-4 性別に配慮した防災・復興に必要なこと（前回比較・男性）

